



本能学区 まちづくりのしおり

—歴史の残る職住共存地区のまちを継承するための地区計画について—

平成14年8月に、本能学区の今後のまちづくりを進めていく方針として、地区計画を都市計画決定しました。このしおりは、地区計画の内容をよりわかりやすく伝えるために作成しました。

なお、内容については、本能学区の皆さんの思いが伝わるよう、学区の皆さんとともに検討を重ねたものです。

平成15年3月 京都市

1. 「本能学区まちづくりのしおり」とは

しおり作成のねらい

- 本能学区で平成 14 年に作成した地区計画の方針は、現在京都市の都市計画に正式に位置づけられています（内容は 6 P を参照ください）。これは、こうしななければならないという強制力はもっていませんが、職住共存の良好な生活環境・活発な自治活動の継承維持発展、また望ましい建築や土地利用のあり方についての学区の思いを明文化したものであり、これを学区民が共有すること、さらに多方面に発信して実現を促すことをめざしています。
- しかし短い文章表現では十分に描ききれず、それだけを読んで本能学区が望んでいるまちの姿を把握することに限界があります。そこで「しおり」として別冊にし、地域の思いが、より具体的に伝達できるようにしました。

内容について

まず、このしおりに描いているまちの姿を、学区民の思いとして共有することが重要です。内容については、アンケートや意見交換の場を持っていろいろ検討してきました。今後も常にまちの姿を点検するという姿勢は必要ですから、もし、ご意見等がありましたら、自治連合会・まちづくり委員会まで是非お寄せください。

学区まちづくりへのご協力をお願い

学区の皆様へ

「地区計画の方針」に掲げたよりよいまちの姿を実現するためには、私たち一人ひとりの取組が必要です。まず、このしおりをお読みいただくことから始めて、より積極的に地域の自治活動にご参加・ご協力ください。

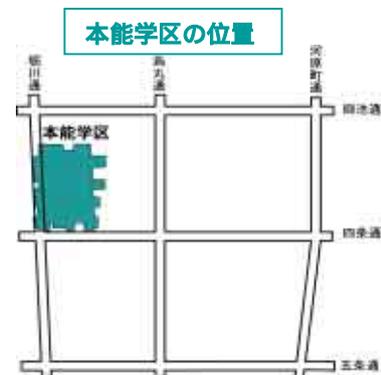
学区内で建築をされる皆様へ

個々の敷地や建物は、私的な物であると同時に「まち」という公共空間の構成に大きな影響力を持つものです。そういった観点から、本能学区として増やしていきたい建物についての思いをこの冊子にまとめました。ご熟読いただき、不明な点をご質問いただいて、趣旨をご理解の上、地域の思いを設計や工事に反映していただきますようお願いいたします。また、本しおりは本能学区の地域特性や生活文化を知っていただく情報源としてもお使いください。

2. 本能学区について

(1) 本能学区のなりたち

三条大路，四条大路，西洞院大路，大宮大路で囲われた区域を平安京造営当時は左京四条二坊（左京永昌坊の第二坊）と称していました。この二坊には小路で区切られた一町四方の町が十六あり，本能学区は堀川小路から以東の九町から十六町と云われた町域がその範囲になっています。当時はこの一町四方で囲われた町域が一つの町内でした。それが庶民の家が道路に沿って建てられ，道路を挟んだ両側を一町内とする現在のような両側町になるのは，今から 600 年程前だろうと云われています。



日本能寺が当地に建設されるのは天文法華の乱の後であり，その頃京都の町は上京，下京の二つのかたまりに分かれていました。当時の本能寺は下京の北西のはずれに建っています。戦国時代も終わり，信長が天下を統一する頃になると町も賑わいを見せ，新しい町が広がって行こうとしています。本能寺の変はそんな世情の中での一件です。炎上後再建された本能寺を，秀吉は現在の寺町御池の位置に移し，一町四方の町域の真中に南北方向の道路を通す都市計画を断行して，現在見られるような道路形態が実現します。

当時はまだまだ百鬼夜行の世の中で，身を守るすべは自らしかありませんでした。町内の辻々には構門を設け，夜の十時には門を閉ざし自らの町を守っていました。江戸時代の初め頃，黒染の源流でもあり，宮本武蔵との決闘で有名な吉岡憲法が，西洞院四条下るに染色業を営みながら庶民に剣術を伝授し，町民は一朝事ある時の防備に備えていたと云われています。

元々あった上京，下京の複数の古町組が，新しく増えてくる新町組を傘下に取り込んで，町組の組織はどんどん大きくなっていき，江戸時代末期には上京十二，下京八の大きな町組に編成されていきます。一つの大きな町組は数十町の前，新の町から出来ており，それが一つの地域にかたまっているのではなく，各町組及び各町が網の目のように錯綜して，モザイク状に存在していました。本能学区の区域でも八つの古・新町組に分かれていました。

明治政府になって教育行政を推進して行く上で，小学校の設立が重要な課題となってきました。錯綜した町組をベースにしていたのでは均等な教育が実施できないと考えられ，古町，新町の差別も取払い，平均 26～7 町前後で一学区 = 一町組を構成し，その区域ごとに一小学校を設立する案を京都府がまとめます。ここに上京三十三，下京三十二の新たな町組 = 学区が成立する事になります。本学区は下京二番組と称され，明治二年，日本最古の六十四番組小学校の一つとして発足します。この時，本能校の校地も校舎も地元民の絶大な協力のもとに設立されます。本来何百年も続いた町組を分解再編成する等という事は至難のわざであったのですが，新制度に対する行政と市民との並々ならぬ熱意が然らしめたものと思います。尚，当学区が中京区になるのは昭和四年の市制改変以後からです。

各町内が持っている自治の伝統と，よりよい町を造って行こうとする市民の，先人から受け継いだ熱意が，本能学区のなりたちの基本にあると考えています。

参考文献：『京都の歴史』（発行/京都市史編さん所（1971 年））

(2) 本能学区のまちづくり資源



越後神社



青い目の人形



長尾邸跡



織田信雄古蹟



空也堂



稲荷神社



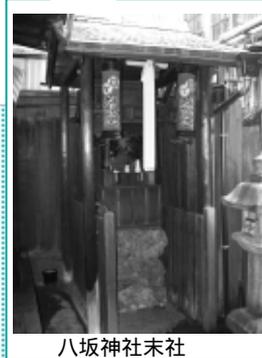
藤堂高虎屋敷跡



ちんちん電車



道祖神



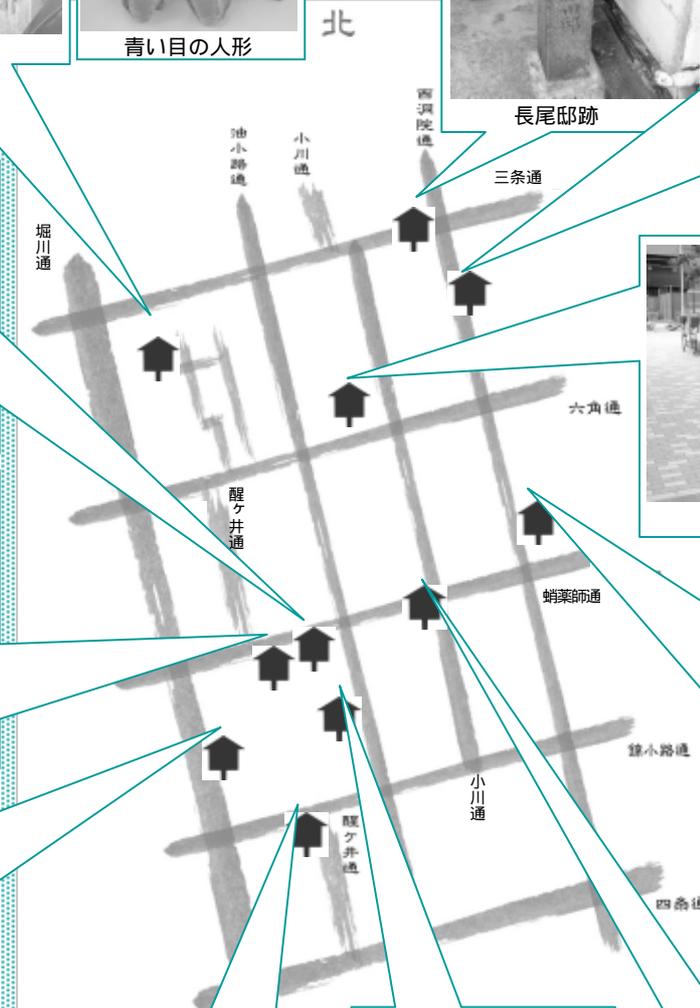
八坂神社末社



肉桂水の井戸



本能寺跡



北

西洞院通

小川通

堀川通

三条通

六角通

醒ヶ井通

蛸薬師通

鐘小路通

小川通

藤ヶ井通

四角通

本能学区

延暦13年京都に都が遷されてから開けた所で、左京永昌坊の第二坊に属し、主として貴紳の邸宅に当てられていた。今日まで史実に照らし数々の史跡を多く蔵している。東は西洞院通をもって元明倫学区に、西は堀川通をもって元乾学区に、南は四条通をもって元格致学区に、北は三条通をもって元城巽学区と境している。東西420m、南北651mの矩形をなし、24ヶ町からなっている。

本能寺跡 蛸薬師通小川角

天文5年(1536)伏見宮貞敦親王王子日承によって、西洞院と堀川の間、四条坊門の北に再興された。当時は34余の塔頭境内子院に囲まれていた。天正10年6月2日、織田信長を攻めた明智光秀の兵火にあい一山の堂塔を失った。後に信孝が、父信長の廟を建てるために、本能寺は、再度この地に復興をみることとなったが、豊臣秀吉の区画整理により、東京極(今の寺町)の三条坊門(今の御池南の地)に移された。

道祖神 醒ヶ井通錦下ル

道路を守り悪気・邪気をさえぎり防ぐ神。賽神・幸神・障神・賽大神・道神・ちまたの神などとも書かれ、複雑な性格をもつ。多くは石をもって象徴し、路に座して悪霊を防ぐ威力を持つ神とされている。村境や峠や道の辻などで外から入ってくる悪霊を防ぐ意味と同時に、生者と死者、人間界と幽冥界の境をつかさどる神の意味である。

青い目の人形(メリー・シュネイラー)

昭和2年、日米両国の親善を願い、1万2千余りの人形が日本の子供たちに贈られた。当初京都には262体送られたのが現在3体しか残っていない。本能小学校の青い目の人形(メリー)さんは雛人形と一緒に保存され、毎年、お雛祭りの時に飾られていた。しかし、どういう身の上の人形かは戦争が介在したため十分に伝えられず、またそのために当時の資料は殆ど残されていない。今現在は高倉小学校に保存してある。

越後神社 六角通油小路西入上ル

この辺りは明治時代より青山屋敷という名称があり、その屋敷跡の総坪数は1340坪で庭園には300坪程の大池があり、島には福鷹竜神、周辺には福德稲荷大明神が武家時代より祭られていた。写し友禅の創案者である広瀬治助(備治翁)が青山屋敷跡に工場を建てて豊富な水量を水洗に利用していたため池水は京友禅発祥の泉と言って過言ではない。昭和10年頃より水位も下がり全く水も湧かなくなり、埋め立てて土地に変わった。昭和25年に島であったお宮のところに池辺のお宮を移動させて並祀、昭和35年に越後神社を建立した。

蟻螂山 西洞院通四条上ル

中国は梁の時代の詩文集「文選」にある、「蟻螂の斧を以て隆車のわだちをふせがんと欲す」という言葉に着想し、御所車にカマキリを乗せて巡行したのが始まりといわれる。別名「カマキリ山」。カラクリ仕掛けで、カマキリの手鎌と羽根と首がユーモラスに動き、御所車の車輪が回る。

空也堂 蛸薬師通油小路西入

正しくは紫雲山極楽院光勝寺と号し、天台宗の寺で俗に空也堂という。創建は、天慶元年(938)、空也上人によってなされたといわれる。上人は市中に疫病が流行したとき、薬湯の茶を病人にあたえて救ったと伝えられる。上人の弟子定盛はその遺風を伝えて茶筌を作り世に広めた。これが「王服茶筌」の起こりである。「空也の踊念仏」といわれる空也忌は毎年11月13日にここで行われる。

稲荷神社 蛸薬師通油小路西入

現堀川高校は戦国大名藤堂高虎の下屋敷があったところで、その鬼門に祭られていた稲荷神社と町内の二社と合わせて三神(藤堂家の民部稲荷、亀屋町内の龍田稲荷、四坊堀川町の御福稲荷)として祭られている。

長尾邸跡 三条通西洞院西入

長尾郁三郎は、幕末の勤王方の御用商人で、勤王の志士たちに莫大な資金援助をなし、幕府よりとがめを受けて、元治元年(1864)に殉死する。

肉桂水の井戸 西洞院通蛸薬師上 和田様宅内

この地は、古くは、後鳥羽上皇御所のあったところで、のちに三井両替商の本拠地となった。当家は戦後同家よりその一部を譲り受けて現在に至る。この井戸の水はニッキ(シナモン)の味がしたといわれ、名井「肉桂水」とよばれ織田信長も好んで茶を喫したと伝えられている。なお、この付近に戦前まで大きな自然池があり、信長首洗いの池とも伝えられ、また「池須町」の町名の由来ともなっている。

この学区には、古来数々の名水があり、茶湯に供されてきた。今は現存しないが、記録に残っているものを拾ってみると…。柳の水(柳水町東側)、富樫の水(四条坊門堀川西類)、小井(橋東詰町南側)、醒ヶ井(三文字町古田織部正宅内)などがある。

3. 「本能学区の地区計画」

(1) 本能学区の概況

本能学区の位置と地域の概況

本能学区は、京都の都心部に位置する地域です。このあたりは、良質な地下水を活用し、京染の生産地として発展してきました。地域には、京染をはじめ様々な伝統産業の職人が住まいし、京の暮らしを支えるものづくりや商いがされてきました。

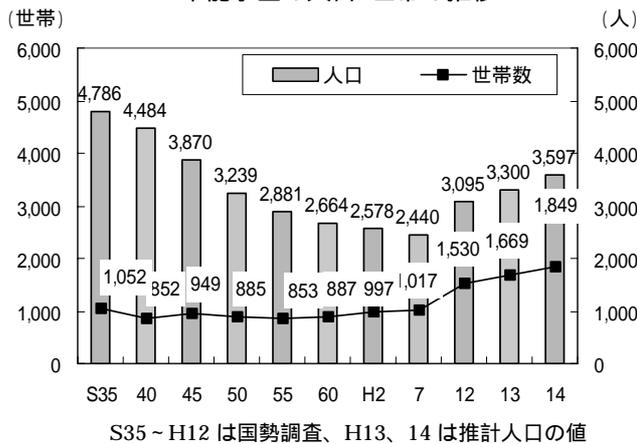
職と住（仕事と住まい）が一体化した暮らしのなかで、住民間のおつきあいが深まり、自治連合会や各種団体などによる地域活動が活発に展開されています。

近年、和装産業の活力低下などにより地域の経済力が低下し、京染などの工場が無くなった跡地に共同住宅が建設されるなど、まちの変化が急激に進みつつあります。

本能学区のデータ

- ・ 本能学区は、近年、人口や世帯数が増加傾向にあります。
- ・ 京染は多くの工程からなりますが、本能学区にはその殆どがあります。

本能学区の人口・世帯の推移



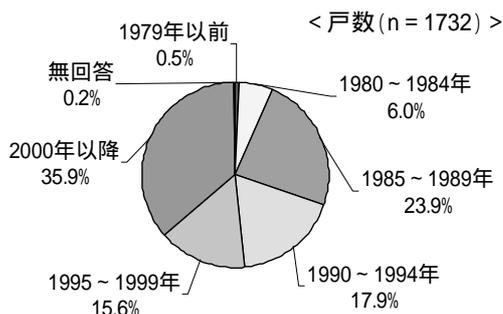
京染の業種別件数

白生地問屋	5	蒸・水元・水洗	0
京染卸	24	金彩	3
染つぶし問屋	9	刺繍	5
前売問屋	19	湯熨斗・張整理	11
工芸染匠	12	補正	18
京都友禅	3	仮工バ	1
誂友禅	2	脱色・洗張	1
黒染	7	仕立て	8
色染	17	紋糊置	2
印染	10	紋洗い	1
下絵	1	紋上絵	9
糸目・伏糊置	3	縫紋章	3
挿友禅	5	その他の加工	4
引染(色・黒)	3	小売店	4

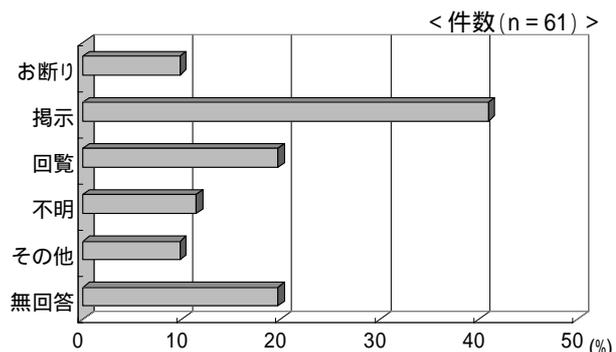
(平成12年10月現在)

- ・ 近年共同住宅の建設が増えており、2000年以降の供給戸数が35.9%を占めています。
- ・ 共同住宅の場合、配布物や回覧板はホール等に掲示しているだけの場合が多く、情報が伝わりにくいことから、地域の活動などを知らず、参加しない人が多くなるといった課題があります。

建築時期別供給戸数



回覧板・配布物の掲示状況



マンション実態調査(本能まちづくり委員会調査 平成13年8月現在)

(2) 本能学区の地区計画の方針

地区計画名称

本能元学区地区 地区計画

位置

京都市中京区柳水町，池須町，古西町，蟻螂山町，猩々町，元本能寺町，三条油小路町，六角油小路町，山田町，藤本町，藤西町，橋浦町，壺屋町，四坊堀川町，錦堀川町，塩屋町，橋東詰町，本能寺町，越後町，越後突抜町，元本能寺南町，亀屋町，空也町及び三文字町の24ヶ町

面積

約 19.7ha

地区計画の目標

当地区は，本能寺の旧跡をはじめ，数多くの歴史的・文化的な資産を有する地区である。また，昔から今日に至るまで京染に関わる職人が多く住む地域であり，職のつながりを基礎にした住民間の交流が豊かで，活発な地域コミュニティが形成され，職と住が共存する市街地を形成している。

当地区では，「住みたいまち，育てたいまち，働きたいまち，本能」の実現を目指したまちづくりを進めており，今後ともこのまちづくりの進展を図る。このため，職と住が共存し，地域の資源である「染め」の文化・技術を現代の魅力として活かしながら，住民間のおつきあいを大切にした交流豊かなまちの形成を図り，子どもから高齢者まで多世代が暮らしやすい開かれた地域社会の実現を目指すことを，将来にわたる地区計画の目標として定める。

土地利用の方針

当地区を細区分して，それぞれ次の方針により地域の特性に配慮した土地利用を誘導する。

職住共存地区（堀川通沿道地区，三条通沿道地区以外の区域）

商工の賑わいの継承と，地域でのコミュニケーションが豊かな住環境の維持・発展により，まちなみに配慮した都心活力の源となる職住共存の多様な土地利用を誘導する。

三条通沿道地区

三条通の魅力と賑わいを継承し，人々が交流できる空間の形成を図るため，沿道建築物の低層階には店舗の導入を促進する。

堀川通沿道地区

職住共存地区の住環境の維持に配慮しながら，都心にふさわしい都市機能の集積を図る。

地区施設の整備の方針

良好な市街地環境を形成するため，既存の公共施設（道路，公園など）を有効に生かし，歩行者の安全性・快適性や細街路における自動車交通の抑制に配慮した魅力ある施設整備を図る。

また，商店の集積があり，人や車の往来の多い三条通の安全性と賑わいを高めるため，歩車共存の道づくりを進める。

建築物等の整備の方針

落ち着いたある居住環境の保全のため，相隣関係や景観に配慮した建築物とするとともに，地域社会と調和のとれた用途の建築物とする。

共同住宅においては，居住者の地域活動への参加・協力や，共同住宅の適正な管理を促進するとともに，地域での住民間のコミュニケーションに配慮した建物配置・建物構造や交流空間の確保に努める。

その他当該地区の整備，開発又は保全に関する方針

地区の防災・防火・防犯能力を高めるため，防火水槽や防犯灯等の設備の整備や地域コミュニティの強化を進める。

また，緑豊かな潤いある地域環境の形成のため，敷地内における緑化を進める。

4. 本能がめざすまちの姿 - 『住みたいまち』

おつきあいを大切にして暮らしてきた文化をこれからも大事にしたい！

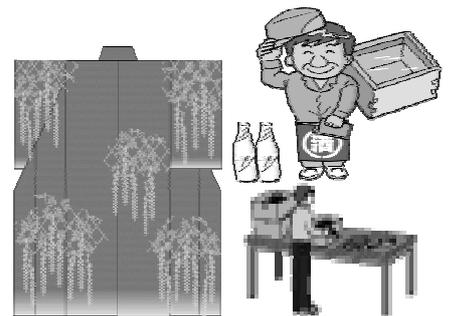
- ・ 本能学区はお仕事と住まいが一体となって暮らしている人の多いまちです。京染めをはじめ多様な伝統工芸の工房・工場，食料品・日用品の商店，こうした産業を支えるお商売（流通，建設業，各種サービス業など）は互いに何らかの関わりがあり，住民としても，商売としても，いつも顔を合わせる関係が培われていました。本音も言い合い融通もつけあう人間関係が，日々の生活の潤滑油となり，これを基礎に絆の強い自治組織が活動しており，子育てでも，防災・防犯の面でも，高齢者の一人暮らしの面でも安心できるまちとなっています。
- ・ 最近マンションなどが増えて，新しくお住まいになる人も増えてきていますが，これまでのようにみんなが住みやすいまちであってほしいものです。そのためには，住民同士がつながり，お互いに意見を言い合える関係を，新しくお住まいになった人達も一緒に築いていけるよう，今後も心掛ける必要があります。
- ・ 本能学区で安心して楽しく住み続けるために，おつきあいを大切にする本能の暮らしの文化を大事にしたいと考え，今後も住民間の交流がたくさんあるまちをつかっていきたいと考えています。



住民が増える良さをうまく受け止めたい

地域の活力づくりも，住み続けられるまちをつくるためには大切！

- ・ 元本能小学校は，地域住民が資金を出し合い建設したものです。本能学区の活発な経済活動は，地域の生活を守り，豊かにする重要な基盤です。
- ・ 近年地域の経済活動はやや低迷していますが，染めの技術などものづくりでは，全国に情報発信できるだけの力を持っています。今，新たにこの力を見直し，地域の特徴として様々な活動に活かしていきたいと考えています。そして，染めなどものづくりの良さの再確認，消費者が欲しがる商品の開発・流通の研究，伝統産業の良さに惹かれて本能に来る人（住む人）との交流などから，地域の産業を再び盛り立てることができればと考えています。
- ・ また新しくお住まいになる人は，食料品や日用品などお商売をされているお店にとって新しい顧客となる可能性があります。対面販売等を通じて顔見知りとなる関係が生まれると，それが，子供達への目配りや，高齢者への声かけ，あるいは生活情報の取得につながり，さらにまちが暮らしやすくなるのではないのでしょうか。
- ・ また，地域で現在仕事をしておられる職人のみなさんには“おいでやす染のまち本能”などの取組にすでにご参画いただいております。様々な立場から地域の活力づくりが始まっています。
- ・ 新しくお住まいの人も含めて，様々な活動の場でのお手伝いや企画などに参加する人が増えてくれば良いと考えています。
- ・ また新しい店舗や工房，情報発信の場づくりでは空き家やマンションなども活用ができればと願っています。



『育てたいまち，働きたいまち，本能』とは -

このよう
なお付き
合いを望
んでいます

他への配慮
を大切に
したい

まずはお互い挨拶のできる関係づくりをしませんか。

- ・ 近年，マンションの数がとても増え，地域にとって，どのような人がお住まいなのか分からないという状況がありますが，新たにお住まいになった方も，この地域の生活・文化に関心をお持ちいただけることを望んでいます。
- ・ また，高さのある建物が建つことで，周辺の住環境を大きく変えてしまうという実態があります。新たな建物が建つのであれば，周辺への配慮のある，地域としてお付き合いしやすいものである事を望んでいます。
- ・ 私たちは，新しく住まれる方々を含めて全ての住民が地域の自治活動の主役と考えています。住民みんなが安心して住み続けていけるよう，様々な活動を今後も活発に実施していきたいと考えています。



- ・ 本能学区が取組んでいる自治活動は，誰でも参加できるよう配慮していきましょう。またどんどん参加もしていきましょう。もちろん，人それぞれのお考えも事情も異なりますから，個人の意思を尊重し，無理をしないおつきあいを大切にしたいと思います。まずは，お互い挨拶のできる関係づくりをしていきましょう！

調和のあるまちなみを求めていきたい

- ・ 本能学区のまちなみは変化していますが，それでも歴史を経て残った建物や子どもが昔は良く遊んだ路地などがあり，路地の奥には隣の路地と行き来できる木戸があって近隣の協力関係が偲ばれますし，まちなかには地蔵尊，道祖神などが祭られ，御世話をする人が必ずいます。
- ・ 本能学区としては，現在残っている昔ながらのまちの雰囲気や建物を大切にしたいと考えています。それは町家など建物を残すことだけではなく，京染めなど工場・工房が多数立地する地域として「お隣さんに配慮した建て方をする文化」，また家の前を掃き清め，植栽を飾るなど「通りへの配慮をする文化」などを継承していくことも大切と考えています。
- ・ 建物の形を規定するより，そうした配慮が感じ取られる建物を増やしていくことで調和のあるまちなみにしていきたいと考えています。



5. 本能学区のまちづくりの方針

地区計画の土地利用の方針，地区施設の整備の方針，建築物等の整備の方針などに示されている内容は，これからのまちづくりを進めていくときの基本を決めたものです。具体的に，どのようなまちづくりを進めていくのかについて説明します。

お町内や街区の歴史，地域の共有財産等の生かし方を考えませんか！

- ・ 本能学区には，「2 - (2) 本能学区のまちづくり資源」で紹介したように，様々な歴史資源があります。
- ・ 豊かな水は本能の染めなど職人の文化を育み，「本能」という校区名や各町名は歴史の大舞台がこの地にあったことを思い起こさせ，今も各町で催されている地蔵盆は地域住民のつながりを大切にしている心を表しています。
- ・ 本能学区では，このような歴史性・地域の文化を考慮し，地域に点在するお地蔵さんや職の工房や問屋，そして，まだまだ多く建ち並んでいる町家などで構成されているまちなみ，これらの要素と一体感を感じられるような建築行為を行いましょう。

例：地蔵さんの祠を組み込んだ建築，前面や背面に緑の植栽を配した建築，和（日本風）の雰囲気演出された建築 等

三条通りは賑わい交流空間を目指しています！

そのために・・・

- ・ 三条通の賑わいを確保するため，共同住宅は1階に店舗などの設置をしましょう。また，本能学区という地域性を生かし，工房などの設置を検討しませんか。
- ・ 三条通の店舗の並びを美しくするため，壁面線を揃えて建築しましょう。
- ・ 三条通には車を利用して来るお客さんもおられ，従来から車と歩行者の多い通りです。車と歩行者が共存できる道づくりは，通りの整備も必要ですが，それだけでは実現できません。通りに面した各戸においても，安全，快適で使いやすい「みち」をめざす必要があります。

隣接敷地や背面の居住者の暮らしに配慮した設計を考えましょう！

- ・ 近年，本能学区のまちなみは大きく変わってきていますが，それでも軒高をそろえ，隣接・後背地に配慮するなど，お隣さんとのおつきあいを大切にしている文化があり，それが建物にも形となって現れています。

- ・ 建築行為を行う場合、必ず周辺の住環境に影響を与えるため、隣接住戸や前面・後背の住戸に対して、その影響を最小限に押さえるよう調整をしてください。
- ・ 特に以下の点は、これまでよく問題となった点です。

建物の側面・町家は昔から隣接住戸のある側には窓を設けないなどの配慮をしてきました。隣接地に住戸がある場合は、プライバシーへの配慮が必要です。

例：ベランダや窓等を隣接側に対して設けない、植栽等で目隠しをする 等

後背地との空間確保・後背に建物がある場合、新しく建物が建つことで風通しが悪くなるなどの影響がでる場合があります。後背住戸との間に空間を設け、少しでも風通しなど住環境が良くなるような配慮が必要です。

まちなみや賑わい、潤いの連続性に配慮しましょう！

- ・ 屋根を持つ門・塀などを設置したり、軒・庇高を合わせるなど、通り景観の連続性に配慮しましょう。
- ・ 都心としての賑わいを確保するため、共同住宅は、1階に店舗などの設置をしましょう。また、本能学区という地域性を生かし、工房などの設置を検討しませんか。
- ・ 共同住宅の玄関周辺などに植栽をするなど、緑を増やしてはどうでしょうか。また個人のお宅でも、玄関周りを植栽や暖簾などを上手く用いて美観への配慮をお願いします。

共同住宅では、地域住民との交流を生み出す工夫を取り入れましょう！

- ・ 共同住宅は特に地域との接点が少なくなりがちなので、地域と共有できる場があると交流の機会が増えてくると考えます。

既に取り組みされている事例：

共同住宅の集会所をお町内の活動場所として提供されている。

共同住宅の1階に祇園祭の鉾を収納する蔵が作られている。

共同住宅の共有施設としてミニ公園や遊具など設置し、地域も利用できるようにしている。

共同住宅では、ルールとマナーを守れる建築・設計をしましょう。

- ・ ゴミ置き場は、扉をつけるなど、猫や鳥などにゴミを荒らされないような工夫をしてください。
- ・ 駐輪場は必要台数を予測して、必ず全部が収容できるよう設計をしましょう。
- ・ 駐車場も必要台数分を確保するようにしましょう。

防災や防犯への配慮をしましょう。

- ・ 本能では消防団など、防火・防災・防犯に対し、地域の総力を挙げて取り組んでいます。これには、住民としての自覚と協力のほか、設備や消防自動車の通路の確保など建築における協力も必要となります。安心して暮らし続けられるよう防火・防災・防犯への配慮・協力をお願いします。

【本能での将来のまちなみイメージと参考事例】

<まちなみイメージイラスト>



『職住共存地区整備ガイドプラン（平成10年4月発行）』より抜粋

事例

職と居住がうまく合築されている共同住宅

例：地域の特徴を取り入れた共同住宅

地域の代表的な職に関わる店舗等を組み込んだ共同住宅。事例は、共同住宅を建てたい建築主と工房の場所を探していた事業者が出会い、設計施工された例。



この部分が居住スペース

この部分が工房

通り景観に配慮している共同住宅

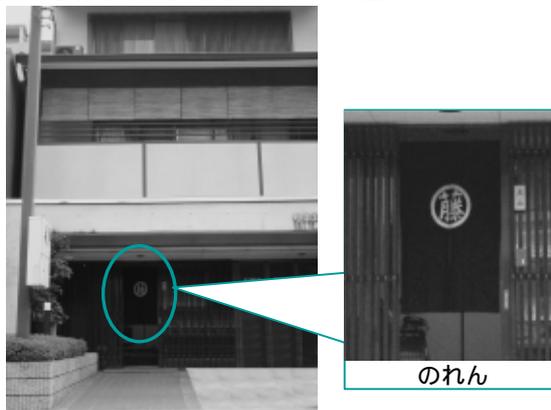
例：軒高は隣接住戸と併せて、上部階をセットバックし、威圧感を感じさせない工夫。また表通りから駐車場が見えないように配置している共同住宅



例：植栽を配したり、のれんなどをかけて、まちなかに彩りを与えている住戸



植栽の配置



のれん

本能学区からのお願い ～交流豊かなまちに

(1) 共同住宅の管理について

共同住宅内で町内会の「となり組」を作しましょう！

- ・ 地域と情報のやり取りや各種相談をおこなうために、窓口となる人(または組織)が必要です。そうすることで、何か問題が起きても地域と摩擦を起こすことなく解決できるなど、楽しく暮らすための基本的な仕組みを確保する事が出来ます。
- ・ 事業者の皆さんには、そうした組織の設置を前提とした物件の企画をお願いします。
- ・ 住民が子育ての時期から高齢期を迎えても安心して暮らしつづけることを支援する活動が地域にはたくさんあります。このような活動を暮らしに生かせるよう、共同住宅内にある自治組合(または管理組合)の代表の方(まとめ役の方)は町内会に参加をして、情報のやり取りにご協力ください。
- ・ 市や区からのニュース・各種案内や地域の活動の案内など、配り物等がいろいろあります。配布・回収にご協力ください。

町費の負担をお願いします。

- ・ 町費は防犯灯の維持管理や自治会が実施する地域活動の原資として使われており、各世帯のご負担が必要です。町費の額は町により定められています。
- ・ 入居者との管理契約書を締結される際に町費負担を明記してくださいますようお願いいたします。

地域の情報を早い段階で入居者に提供できるようご協力ください。

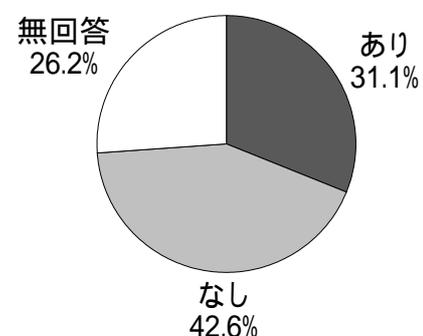
- ・ 販売時の説明会の場で地域の活動や生活のルール・マナー、魅力的な資源、地域が行なう楽しいイベントなどの情報を提供いただければ、入居者も地域を良くわかって住んでいただけるので、要らないトラブルを回避でき、地域に親しんでいただきやすくなります。是非ご協力ください。
- ・ 地域からの情報提供は積極的に行ないます。

決められたルールを守り、気持ちよく暮らしましょう！

- ・ 放火などの可能性や、犬・ネコ、からすなどによるごみ荒らしを少なくする為、ごみ出しのルールを守るようお願いします。
- ・ 自転車は決められた場所に駐輪するようにしてください。
- ・ 来客用には、コインパーキング等を利用するよう呼びかけるなど、長時間の路上駐車がなくなるようお願いします。

管理人の状況

< 件数(n=61) >



マンション実態調査
(本能まちづくり委員会調査 平成13年8月現在)

(2) 地域自治活動への参加・協力

本能学区ではいろいろなことをやっています。お年寄りから子供までが、いきいき伸び伸び楽しめる環境づくりを一生懸命進めています。又、“染のまち本能”をキャッチフレーズに、伝統産業である着物産業を後世に残すべく地道な活動を続けています。職住共存を目指し、住民同士の“和”を尊重し、活力あるまちづくりを目指しています。古くからお住まいの皆さん、新しくお住まいになられた皆さん、こんなまちづくりと一緒に楽しみませんか。

(町内会の活動紹介)

本能学区の各町内会ではいろいろな伝統行事を催しています。新年互例会、初午、春の例祭、地藏盆、道祖神祭、護摩供養、お火焚神事等

(自治連合会の活動紹介)

本能自治連合会では元本能小学校の敷地内の自治連合会館を拠点に新年互例会、成人式、夏まつり、敬老会、献血運動、各種啓蒙活動等を行っています。自治連合会傘下の各種団体もそれぞれ個性のある活動を展開しています。

主な団体活動を紹介します。

[体育振興会]

行事……歩こう会、ソフトバレーボール大会、体育祭、夏まつり、
区内外各活動行事の参加
クラブ活動……卓球、ゲートボール、綱引、バレーボール、陸上、
硬軟テニス、バスケット

[消防分団]

防火・防災啓蒙活動及び訓練、消火器詰替作業等年間を通じて活動を行っています。

[自主防災会]

自分の身、自分の家族、自分の地域は自分で守るという考えの下に作られた組織です。様々な訓練を行っています。

[少年補導委員会]

ハイキング、ふれあい祭、夏まつり、祇園祭パトロール、その他児童研修活動等

[社会福祉協議会・民生児童委員会]

独居老人訪問、お雛まつり、子供と老人とのふれあい祭り、手話サークル等

[交通安全対策協議会]

交通安全啓蒙運動、交通安全対策協議会の催し、葬儀等の交通パトロール等

[長寿会]

学区内最大の会員数を有する団体です。
カラオケクラブ、ちぎり絵サークル、旅行会、お食事会等幅広い活動をしています。

その他の団体の紹介

公園愛護協力会、母子寡婦福祉会、保護観察協会、平安講社、清々講社、更生保護婦人会、共同募金、教育後援会、文化協議会、保健協議会、遺族会、日赤奉仕団



夏まつり



区民運動会 体育振興会



消防訓練



敬老会

これからのまちづくりのために

まちづくり委員会の活動

これからの本能学区のまちづくりに情熱をもちやしております。

主な活動：歩いて暮らせるまちづくり、「染のまち本能」公開工房，地区計画策定，共同住宅への取組等

- ・本能学区では、よりよいまちづくりを進めるために、まちづくり委員会が様々な活動を行っています。
- ・まちづくりに関するご意見やご希望等がございましたら、是非ご連絡ください。
- ・また、本能学区では、新たな建築行為が、地区計画の内容に沿ったものになるように、「**本能学区で新たに建築行為をされる皆様へ**」というちらしも作成しております。建築行為をされる場合は、是非ご一読いただきご協力をお願いいたします。

メールアドレス post@honnoh.net

ホームページ <http://www.honnoh.net>

地区計画に関するご相談・お問い合わせ先

京都市都市計画局都市企画部都市づくり推進課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

TEL (075) 222-3503 FAX (075) 222-3472

ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/tokei/todu/index.htm>

メールアドレス todu@city.kyoto.jp

本能学区まちづくりのしおり

写真提供 本能学区の皆さん

作成・編集 京都市，本能自治連合会・本能まちづくり委員会

発行 京都市都市計画局都市企画部都市づくり推進課